

主権者教育の推進と 市政の活性化を目指して ～市内3高校と意見交換会を実施～



11月6日（木）、府中東高校3年生（77名）が、議場と委員会室に分かれて模擬議会やグループでの意見交換会を行いました。模擬議会は「府中市の発展、市民プールについて」などのテーマで6名が実際の議場で登壇し、小野市長、杉本教育長に質問しました。



10月30日（木）、府中高校2年生の総合的な探究のテーマに「地域課題の解決」を選んだ17名が、5つのグループに分かれて議員と意見交換会を行いました。意見交換会では「AIで認知症対策」「小学校教育」「府中市の観光の活性化」「大雨災害への防災・減災」などについて、議員と意見交換しました。



11月17日（月）、上下高校1年生（22名）が、6グループに分かれて議員と意見交換会を行いました。生徒から「府中市の予算」「議会での議論内容」などについて質問しました。

12月議会

市長に対する不信任決議を否決!

12月定例会において、提出された議案13件、決議1件を、会期中(12月1日～12月16日 16日間)に審議し、議決しました。

主 な 審 議

- 府中市立学校設置条例の一部改正**
 児童数の減少に伴い、府中市立上下南小学校を令和9年3月31日をもって廃止し、令和9年4月1日から府中市立上下北小学校に再配置することにより、児童の教育環境の向上を図る。 **原案可決**
- 府中市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定**
 児童福祉法の改正により、令和8年4月1日から乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が本格実施される。
 (【要旨】①対象年齢：0歳6カ月から満3歳未満、②利用可能時間：子供一人当たり月10時間上限、③利用対象者区分：居住地を問わない) **原案可決**
- 令和7年度府中市一般会計補正予算（第3号）**
 福祉サービスの利用増加や施設の維持管理等に要する経費、人事院勧告による国の給与改定等を踏まえた職員人件費の調整など、歳入・歳出それぞれ2億2,070万円の予算を増額。 **原案可決**
- 府中市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正**
 不適切な事務処理の事案により、令和6年度府中市一般会計決算が不認定となったことについて、管理監督責任として令和8年1月の市長給料を40%減額。 **原案否決**

決議《主な議案》

- 小野申人府中市長の不信任を求める決議**
 食の魅力発信事業をめぐる架空請求に関しては、市行政に大きな混乱を引き起こしただけでなく、市民の市政に対する信頼を大きく失墜させたことなどについて、市長へ政治的、道義的責任を強く求める。 **否決**

一般質問

Q & A

12月4日、5日 14人の議員が
市政を問う！



創生会
三藤 毅

予算流用の 議会報告制度導入



Q 地方自治法により予算流用は市長専決で可能だが、行われた予算流用が市民や議会に十分伝えられないと透明性が損なわれ、議会のチェック機能が低下する。そこで、予算流用について議会への報告制度の導入を提案する。

A 現在、予算流用に関する議会への報告基準は設けていないが、指摘のとおり、一定額以上の流用については議会への報告を行い、説明責任を明確にする必要がある、検討したい。



創生会
広瀬 和彦

予算執行の適正化 と内部統制



Q 今回の予算の流用や目的外支出の問題は、組織の脆弱性が露呈され、市民の信頼を失墜した。今後の改善策として、内部統制の構築について市長の見解を伺う。

A 今回の件は、原則から逸脱した予算流用の解釈や事前審査の不備、補正予算を組まずに、多額の流用によるところが要因である。形式的な複数職員のチェック体制も機能せず、極めて憂慮すべき事態を招いた。今後は課題を多角的に整理し、事務処理ルールの見直しと徹底、ガバナンス強化に取り組み。



創生会
福田 勉

南北道路（府中松永線）の進捗状況



Q いわゆる南北道路について、全線開通予定はいつになるか伺う。

A 栗柄町から芦田川左岸線までの区間は、現在工事中で、令和7年度末に新しい扇橋が通行可能となる見込みである。ただし、一部歩道整備が残るため、交通規制を行いながらの、暫定的な供用開始となる。国道486号線からバス道路までの未整備区間は、JRとの協議と用地買収が完了次第工事に着手し、令和9年度の完成を目標としている。



創生会
前田 光夫

伝統文化の継承



Q 地域の祭りや伝統行事・文化活動の継承に向けた市の考え方や支援を伺う。

A 地域の祭りや文化活動は、住民同士のつながりを深め、地域を元気にし、地域活動を続けていく力になると考えている。市独自の補助金はないが、「コミュニティ助成事業」を活用し、地域活動の活性化に資するよう、地域の文化活動を支援している。これまでに子供太鼓や祭り衣装の整備に活用した地域もあり、一団体当たり最大250万円までの助成が受けられる。今後も地域と連携し、文化活動を支援していきたい。



公明党
加島 広宣

観光協会との かかわり



Q 補助金を受け、公的性格を持つ観光協会と本市のかかわり方のガバナンスは、どのようになっているのか伺う。

A 観光協会は独立した組織体の一般社団法人であり、決算や議案については、総会で会員による承認を受けている。ガバナンスが組織の健全かつ持続的に運営されるための仕組みや、管理体制とすると、体制は整っている。市に対して説明責任を果たすべく、調査結果後に、課題や改善策などの報告があるものと考えている。



公明党
大本千香子

手話言語条例の制定



Q 広島県は11月から「広島県手話言語条例」と「広島県障害者の推進に関する条例」を施行した。議員と語る会でも手話利用者の方から、府中市手話言語条例の制定を求める声をいただいた。条例制定の取り組み状況を伺う。

A 障害のある方とのコミュニケーション環境をさらに充実させるため、手話言語条例制定について具体的な検討を進めてまいりたい。



経政会
田辺 稔

湯が丘病院の建てかえ



Q 令和7年度も湯が丘病院の医業収支の赤字が拡大し、市財政への深刻な影響が懸念されている。建物の老朽化、財政状況、そしてコンサルタント報告書でも、病院の持続可能性が問われている。こうした中で、建てかえの是非を含めた病院の将来方針をいつまでに決定するのか伺う。

A 現在の病床稼働率や認知症病棟への転換、人件費高騰などの課題を改めて整理、検討した上で、病院建てかえを含む方向性について遅くとも年度内に判断したい。



経政会
藤本 秀範

鳴谷潜水橋の暫定復旧



Q 国の整備計画は、平成30年7月豪雨と同規模の災害を想定し、中須地区の河道掘削が計画されている。福山市では、橋梁を設けるまでの間、暫定措置として潜水橋を復旧させている。府中市も同様に、鳴谷地区から中須大橋までの道路拡幅及び歩行空間が整備されるまでの間、鳴谷潜水橋の復旧を暫定措置として再検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。

A 潜水橋の復旧は、暫定的であっても、治水上の観点から困難と考えている。



人事の基準



Q 架空請求事案の背景は、人事配置も一因と考えるが、前任の部長の選考過程がどうだったのか伺う。

A 広島県から赴任され、県でも管理職であったことから、いろんな知見を持たれていると判断し、人事を決定した。



鳥獣被害対策



Q 鳥獣被害状況と対策について伺う。

A 令和6年度の被害状況は、農業共済組合への報告が56件あり、うちイノシシ18件、猿12件、鹿2件、アナグマ等24件であった。市としては町内会を通じて箱わなの貸し出しや、電気柵設置に補助金を出している。対策については、テゴスと協力した鳥獣被害予防講習会や、猟友会との連携体制を強化し、被害軽減に努めている。



東部地域の公共交通



Q 東部地域の公共交通は、路線バスのみである。高齢化が進み、生活圏が狭まる状況となっている。例えば、道の駅、鳴谷、中須、新市駅、市民病院、道の駅という路線を検討できないか。

A 市街地東部の地域に暮らす方の移動手段の確保に資する施策については、地域や事業者の意見を聞きながら検討してまいります。



不正経理と公益通報



Q 「小中一貫教育全国サミットinびんご府中」と「食の魅力発信事業」をめぐる架空請求事件に関して、事件発覚の発端となった公益通報がいつあったのか、なぜ議会等に説明しなかったのか伺う。また記者会見等で公表しなかった理由を聞く。

A 8月25日に通報があった。通報の内容が事実かわからないうちでの公表はできない。調査を行い事実がわかってから公表すべきと判断したため9月議会では触れなかったが、10月の建設産業委員会では「内部からの通報」と発言している。記者会見等については必要ないと判断した。



湯が丘病院の建てかえ



Q 湯が丘病院の建てかえ方針と同病院の地域における役割を問う。

A 湯が丘病院は129名の職員を擁し、そのうち府中市在住者は70名で、地域雇用にも重要な役割を担っている。本業の精神科医療の役割だけでなく、業者取引や職員の消費活動で地元の経済活動を支え、人口減少対策にとっても重要な施設と認識している。建てかえについてのコンサルタントの調査結果が出たので精査し、年度内に建てかえ方針を決定する。



「恋しき」の抜本的な見直し



Q この間、予算の流用など不適切な会計処理で「恋しき」の経営に対する市民の目は厳しい。事業撤退を含めて、抜本的な見直しが必要ではないか。市民の声をもっと聞いてほしい。

A 市民の声を聞くというスタンスは変わっていない。「恋しき」については、料亭やカレー、そばなど様々な経験ができるものと思っている。また、「恋しき」は府中市における貴重な観光資源と考えており、歴史的資源をどう活用するか検討していきたい。

委員会での審査

総務文教常任委員会

議案第84号 府中市立学校設置条例の一部改正について
(原案可決)

Q 学校再配置の今後の方向性と対応について伺う。

A 上下中学校区の小学校のあり方については、保護者代表や町内会との協議を重ね、複式学級の解消などを目指し、小学校2校の再配置について合意形成が図られた。将来的に義務教育学校への移行を見据え、令和9年から上下南小学校を上下北小学校へ再配置する。

議案第80号 字の区域の変更について
(原案可決)

Q 字区域の決め方や調査の進捗状況、事業効果について伺う。

A 字区域には明確な基準はないが、地形や現在の字名、屋号の使用状況、関係者の希望などを考慮し、またまりのある区域設定に努めている。市全域195.75平方キロメートルのうち、調査対象は177.78平方キロメートルで、46.1%に当たる81.87平方キロメートルが完了している。地籍調査により土地情報の正確化が進み、土地取引の円滑化や災害時の早期復旧、まちづくりの効率化につながるため、引き続き事業を推進していきたい。

厚生常任委員会

議案第81号 府中市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
(原案可決)

Q 乳児等通園支援事業とは何か。また、一時預かり事業との違いを伺う。

A この事業は、保育所に通っていない生後6カ月から満3歳未満の子供を対象に、月10時間まで保育所を利用できる子供の育ちを支援する新たな制度である。一時預かり事業は保護者支援を目的

に多くの場合市内居住者を対象とし、利用日数や時間帯で料金が設定されている。一方、乳児等通園支援事業は居住地を問わず1時間単位で利用でき、短時間利用の場合、料金的には利用しやすい。本市ではまずは公立保育所での実施を前提に準備を進めている。

予算特別委員会での審査

総務文教分科会

議案第85号 令和7年度一般会計補正予算（第3号）について

Q 中学校管理費の補正について、2,520万円の改修工事費の減額について伺う。

A 上下中学校のトイレ改修工事は、国の補助金が交付されなかったため次年度へ見送り、過疎債支出予定額から体育館空調工事の不足分520万円を差し引いた結果、2,520万円を減額した。また、体育館空調設備の工事日程については、変圧器の仕様変更により、一部繰り越しとなり、府中学園・上下中学校は令和8年7月末、府中明郷学園は今年度末での完了を見込んでいます。

厚生分科会

議案第85号 令和7年度一般会計補正予算（第3号）について

Q 少子化対策事業に要する経費として寄附金が計上されているが、寄附金の経緯と備品購入の内容を伺う。

A 寄附金は、本市と連携協定を締結している明治安

田生命保険相互会社から、令和3年度から毎年寄附を受けており、今年度で5年目となる。活用は、健康増進や子育て支援などを目的としており、今年度は市役所南棟の子育て応援課前にあるキッズスペースのリニューアルに活用し、ベンチや椅子、絵本やおもちゃの購入と、ふらっと上下の乳幼児用体重計を購入する予定である。

建設産業分科会

議案第85号 令和7年度一般会計補正予算（第3号）について

Q イベント内容とその効果を伺う。

A 多くの市民が待ち望んでいた府中南北道路・新扇橋の開通を記念するもので、地域住民の安全性や利便性の向上を広く周知するとともに、地域のにぎわい創出や一体感の醸成につながるものとして期待している。イベント内容は現時点では未確定だが、式典やテークアウト、渡り初め、アトラクション、一般開放などを予定している。

討論

議案第91号 府中市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について

反対討論

創生会 広瀬 和彦
本議案は、調査が継続中の段階で提出されており、慎重な判断が必要である。問題が職員個人の不正か、組織的な内部統制の不備か、市長の関与によるものかは、いまだ確定していない。調査結果を待たずに給与減額を先行させることは、市民に結論ありきとの印象を与えかねない。12月22日の中間報告を踏まえて対応すべきである。

反対討論

市民クラブ 芝内 則明
調査体制が整ったと議会に報告された。まずは、調査に協力し、そしてその要因を究明すべきであり、それが何よりも市民が市への不信感を払拭できるものだと考える。また、12月22日に中間報告をされる。その中間報告を待たずして、条例改正をすることについては、市民に対して背信行為であると思ひ、この条例に対して反対する。

反対討論

無所属 岡田 隆行
12月下旬、「恋しき」の不適切な会計処理、架空請求などについて調査の中間報告が出される。それを待たずしてこうした減給条例を出されるのはあまりにも拙速で、唐突感が否めない。また期間も1カ月、減給率も40%と、この根拠も不明確で、市民の納得も合意も得られない。よって本議案に反対する。

決議第1号 小野申人府中市長の不信任を求める決議

反対討論

創生会 三藤 毅
決算不認定に関する内部調査の結果はまだ出ておらず、全容も明らかでないこの段階で、市長への不信任決議を行うのは時期尚早である。もし可決されれば、来年4月の市長・市議会議員選挙を前に追加選挙が必要となり、約3千万円の費用が新たに発生する。この財政難の中、市民の理解を得るのは極めて困難であり反対する。

反対討論

経政会 森川 稔
架空請求や予算流用に係る事務処理の不適正、公益通報への不誠実な対応など、現在、調査や検証が進められている。原因と経緯の精査、さらには改善策の提示を踏まえた上で議会として市長に説明責任を果たさせ、再発防止に向けた政策的な対応を求めるべき段階であり、不信任という結論で終わらせるべきでないと考え、反対する。

賛成討論

市民クラブ 土井 基司
内部調査の進行を待つて、3月議会で決議しても、予定される選挙日程とほとんど変わらず意味が薄れるため、今しかない。

賛成討論

無所属 岡田 隆行
数年前「恋しき」を市が購入する時点から、先が見えないとの理由で反対してきた。今回の不適切な予算流用問題、また架空請求についての内部からの告発。もはや小野市政に対する指導力、求心力が黄信号から赤信号に点灯している。さらに財政の健全化を進める中でも目標達成は不可能。よって不信任決議に賛成する。

所管事務調査の報告

府中市議会の総務文教常任委員会、厚生常任委員会、建設産業常任委員会では、委員会の権限により、所管事務調査を実施し、令和7年報告をホームページに掲載しました。QRコードを読み取ってご覧ください。



『調査事項』

【総務文教常任委員会】	【厚生常任委員会】	【建設産業常任委員会】
(1)協働のまちづくり・地域交通について	(1)地域医療体制について	(1)公共施設の維持・整備、都市計画事業について
(2)広報について	(2)民生・福祉・子育てについて	(2)農業・林業振興について
(3)スポーツ振興について		(3)産業・観光振興について
(4)財政について		
(5)学力向上について		
(6)環境衛生について		

令和6年度決算に係る事務事業に対する提言

市議会では、令和6年度の決算に係る事業から各常任委員会で対象事業を抽出し、今後の事業の方向性と評価意見を次のとおり取りまとめ、市長へ提言しました。

所管委員会	事務事業名	【今後の方向性】事務事業に対する提言
総務文教常任委員会	「未来を拓く!」府中市学力向上事業	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】府中市学力調査活用事業については、生徒の学力及び心の状況の実態を把握し、エビデンスに基づいた課題分析や課題解決策を具体的に示すことを目標として掲げており、状況の把握やそのデータをもとにした教職員協働研修への活用部分は評価できる。しかし、学力向上については具体的な成果が十分に確認できないため、効果的な授業や評価のあり方などを検討されたい。</p> <p>ALTの全校配置については、意識調査の数値を見てもおおむね良好ではあるが、英語力の向上については成果が十分に確認できないため、その取り組みを強化されたい。</p> <p>学習指導員の配置については、教員免許を有する人材の確保が難しいという現状は理解できる。しかし、免許を有しない人材であっても教員をサポートする役割を担う教員業務支援員などとして有効に活用することで、教育効果を向上させることが考えられる。よって、見直しを行った上で進められたい。</p>
	府中市子供の学び応援基金	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】子供たちの「挑戦」を応援する事業として一定の評価ができる。しかし、会計処理の適正化や透明性、事業を活用した際の現場教職員等への負担、さらに各校で事情が異なることによる活用の格差などの課題が見受けられる。また、指標や目標値などが示されておらず、事業評価が困難であるため、評価できるよう改善すべきである。</p> <p>以上を踏まえて、課題となっていることを一つ一つ丁寧に検証し、改善を図ることを求める。</p>
	市民協働のまちづくり事業	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】町内会ニーズと新たな協働の担い手マッチング事業については、目標値を達成し、成果も出ているが、その波及が一部の企業のみでなく、幅広い対象へ届くよう、取り組みの強化を求める。また、町内会や地域支援活動の担い手不足については喫緊の課題であるため、所管課にて課題解決に向けた取り組みの強化を求める。</p> <p>協働のまちづくり活動補助事業については、申請件数が少なかったため、改めて事業内容の周知や活用事例の提示を行い、さらなる活用強化の取り組みを図るべきである。</p> <p>外国人との共生推進事業については、周知不足により外国人や地域住民の参加や交流が十分ではないため、広報の充実を求める。また、その他の多くの課題についても検証を行い、課題の改善を図ることを求める。</p> <p>移住定住促進事業と人材確保の模索については、少数ながら移住者を迎えることができている。しかし、目標値の未達成や費用対効果を考慮すると、取り組み項目を改め、一層の移住定住促進を図ることを求める。</p>
	スポーツを活用した賑わいの創出	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】施設の活用促進を図る取り組みや地域への波及効果につながる施策が必要である。SPINGLEウェルネスセンターgym&swimmingについては、府中駅周辺エリア、TTCスポーツパーク上下については、グラウンド周辺を含む上下町エリアのにぎわい創出の取り組みを強化すべきである。</p> <p>そのためには、所管課を含めた組織全体で横断的に施策を検討し、事業を展開することを求める。</p>
	デジタル窓口・市役所庁舎窓口整備事業	<p>【抜本的見直しのうえ継続すべき】費用対効果や有効性を考慮すると評価は低く、休止を検討していく必要性はある。ただし、ICTの導入による本庁と庁外拠点とのサービス均質化などによる利便性の向上や行政組織の効率化・生産性向上を図るためには必要な事業である。</p> <p>バックヤード改革や業務プロセスの見直しを含め、課題となっている事項を改めて検証し、デジタル窓口及び市役所庁舎窓口の整備を進めることを求める。</p>
厚生常任委員会	保育料無償化	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】市民ニーズが高く、子育て環境改善に直結する妥当性の高い事業である。しかし、単市としての財政負担は大きく、持続可能性の観点からも、国に負担を求める形での継続が必要である。また、今後は、事業目的である、子育て世帯の増加(転入促進・転出抑制・子どもの人口増)に対する効果検証方法を早急に検討していただき、柔軟な見直しを行っていただきたい。</p>
	救急相談センター(#7119)事業	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】救急相談センター(#7119)事業は、救急車の適正利用と医療資源の効率的活用に資する重要な事業であり、今後はさらなる周知徹底により、市民への認知度の向上を図られたい。</p>
建設産業常任委員会	力強い産業の実現	<p>【抜本的見直しのうえ継続すべき】産業連係室は市内企業の強み・弱みをしっかりと把握し、産業構造変革に対応可能な体制となるよう抜本的に見直すべき。販路開拓や人材確保支援事業については実施効果の検証を進め、多様な業種や参加者のニーズを反映した継続的な活動を強化し、企業誘致も積極的に展開されたい。</p>
	農業振興ビジョンの実現に向けて	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】農業の担い手不足と高齢化への対応を重点課題とし、農業振興の事業を継続・拡充が必要。新規就農者確保には地域おこし協力隊の活用が有効だと考える。農業の魅力発信とブランディングデザインを明確に示し、持続可能な次世代農業を推進されたい。</p>
	駅南エリアを中心とした賑わいづくり(駅周辺整備)	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】出口川の河川空間整備事業については、広島県と緊密に連携し、借地部分や河川内工事を分離・見直した上で適切な形状への計画策定を進めること。また、府中駅南北通路設置については、進捗状況と課題を明確に説明し、市民サービスの向上と駅南エリアの活性化に寄与する取り組みを強化すること。</p>
	駅南エリアを中心とした賑わいづくり(i-coreFUCHU)	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】i-coreFUCHU第3期整備計画については、簡易会議室等が設置できるよう整備を検討していただきたい。また、維持管理費の抑制を継続しつつ、幅広い世代が楽しめる施設を目指していただきたい。さらに、都市再生整備計画の第4期の早期提示も期待する。</p>
	食の魅力発信(恋しき)	<p>【抜本的見直しのうえ継続すべき】恋しき管理運営事業は、抜本的な見直しを求め、直営や民間委託のあり方の検討を望む。また、食の魅力発信事業については効果を精査し、今後の事業については、内容及び予算を明確に示し、計画的な運営執行をされたい。</p>
	浸水対策事業	<p>【一部見直しのうえ継続すべき】ポンプ排水事業は継続が必要と考えるが、地元住民の意見を反映することや排水の影響を事前にシミュレーションする必要がある。また、排水場所上流の河川堤防のかさ上げについて、県へ要望するとともに、ポンプ設備の容量についても見直すべきである。さらに、ハード整備に加え、避難訓練や情報提供などソフト面の強化を図られたい。</p>

12月議会本会議での各議員の議決結果 (賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名	議員名																		
	本谷 宏行	岡田 隆行	藤本 秀範	真田 光夫	岩室 雄大	芝内 則明	森川 稔	福田 勉	安友 正章	土井 基司	田辺 稔	広瀬 和彦	加藤 吉秀	水田 豊	加島 広宣	大本千香子	三藤 毅	棗田 澄子	
条 例	府中市立学校設置条例の一部改正について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条 例	府中市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
予 算	令和7年度府中市一般会計補正予算(第3号)について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決 議	小野申人府中市長の不信任を求める決議	—	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×

(—議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥・・・本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

議会の動き (10~12月)

- 10月10日 財政改革対策特別委員会(市財政の現状と中期財政見通しの改善等)
- 10月10日 厚生委員会(事務事業評価、管内視察報告書まとめ)
- 10月10日 広報広聴特別委員会(議員と語る会リハーサル)
- 10月14日 総務文教委員会(意見交換会報告書まとめ、フリースピーチまとめ)
- 10月14日 広報広聴特別委員会(議員と語る会(旭公民館))
- 10月15日 広報広聴特別委員会(議員と語る会(クルトピア明郷))
- 10月16日 建設産業委員会(事務事業評価)
- 10月18日 広報広聴特別委員会(議員と語る会(i-coreFUCHU))
- 10月20日 広報広聴特別委員会(議員と語る会(上下公民館))
- 10月22日 広報広聴特別委員会(府中高校探求発表会)
- 10月23日 議員全員協議会(不適切な事務・支払処理等報告)
- 10月23日 広報広聴特別委員会(議員と語る会(クルトピア栗生))
- 10月24日 建設産業委員会(恋しき事業等に係る調査)
- 10月30日 広報広聴特別委員会(府中高校との意見交換会)
- 10月31日 厚生委員会(事務事業評価、管内視察報告書まとめ、所管事務調査まとめ)
- 10月31日 総務文教委員会(意見交換・フリースピーチ・事務事業評価・所管事務調査各まとめ)
- 11月4日 議会運営委員会(12月議会運営)
- 11月6日 広報広聴特別委員会(府中東高校模擬議会)
- 11月10日 厚生委員会(湯が丘病院報告書の説明、所管事務調査まとめ)
- 11月10日 建設産業委員会(立地適正化計画及び公共施設等総合管理計画の説明、所管事務調査まとめ)
- 11月11日 議員全員協議会(不適切な事務に関する調査の説明)
- 11月11日 広報広聴特別委員会(議員と語る会振り返り、各事業の進捗)
- 11月11日 総務文教委員会(事務事業評価まとめ、所管事務調査まとめ)
- 11月17日 広報広聴特別委員会(上下高校との意見交換会)
- 11月19日 財政改革対策特別委員会(令和7年度持続可能な財政運営プランの進捗状況等)
- 11月25日 議会運営委員会(12月議会運営)
- 12月1日 第4回府中市議会定例会
- 12月16日 議会運営委員会(12月議会運営)
- 12月16日 議会運営委員会(12月議会振り返り)
- 12月22日 広報広聴特別委員会(議会だより編集会議)
- 12月22日 議員全員協議会(湯が丘病院に係る説明、公共施設等総合管理計画の説明、不適切な事務に関する調査の中間報告)

視察の受け入れ

- 10月9日 埼玉県川口市(府中学園(義務教育学校))
- 11月12日 徳島県吉野川市(施設一体型義務教育学校(府中学園))

議会運営委員会の活動
議会運営委員会で先進地視察を実施したので、主な視察状況を報告します。

議会運営委員会
令和7年11月13日(木)~14日(金)
・京都府 精華町議会
「議会改革の取り組みについて」

府中市でも、精華町の通年議会や委員会代表質問の仕組みを参考にすれば、議会機能の強化が図れる可能性を感じた。常任委員会の意見が集約できるテーマで委員会代表質問を行うのは、議会の政策機能の強化につながり、是非とも実現したい。「まずやってみる」「改善し続ける」という精華町議会の姿勢は、これからの議会に求められる柔軟性と挑戦する姿勢を体現しており、府中市議会の議会改革や運営改善にも大いに参考になった。



議員と語る会を実施しました

昨年11月に行った「議員と語る会」には市内6会場に合わせて102名の市民の方に参加いただきました。今回のグループ討議のテーマは「府中市の明るい未来をどうつくるか」。もう少し具体的なテーマが良かったのではとか、事前にテーマを知らせてほしかったなどの感想もいただきましたが、事後のアンケートでは「テーマの設定」にはおおむね満足いただいたようです。また、グループ討議のスタイルも約7割の方が良かったと回答してくださっています。

しかし、課題も残りました。参加者の半分以上は60歳以上の方。20歳代、30歳代の方は少なく、若い世代の参加が実現していません。また、女性の方の参加も多くはありませんでした。来年以降は、こうした課題を真摯に受けとめ、少しずつ解決しながら議員と語る会を続けてまいります。どうかご協力をよろしくお願いいたします。



編集後記

2026年のえとは「丙午(ひのえうま)」です。「午」は馬に当てはめられ、健康や豊作、発展を象徴し、「丙」は陽の火をつかさどり、情熱や決断力、物事を大きく広げる性質をあらわすと言われています。

近年、府中市の話題は、財政問題や決算問題と行政運営の根幹にかかわること、市民の皆さんに不信感を抱かせたと深く反省をしています。本年は、情熱的で強い意志を持ちながらも、激しさや変化を伴う議会へと努めてまいりたいと考えています。

(芝内)



議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしています。
TEL(0847)449182
TEL(0847)453212
FAX(0847)453212